



2012年第3四半期 Global IPO Update(要約版)

2012年9月

2012年第3四半期ハイライト

2012年第3四半期における世界の新規株式公開件数は165件であり、2011年第3四半期の291件および、2012年第2四半期の248件と比較して減少している。

43%ダウン： 2011年第3四半期と比較して2012年第3四半期の件数は減少

33%ダウン： 2012年第2四半期と比較して2012年第3四半期の件数は減少

2012年第3四半期における資金調達額は241億米ドルであり、2011年第3四半期の286億米ドル、2012年第2四半期の443億米ドルと比較して減少している。

16%ダウン： 2011年第3四半期と比較して2012年第3四半期の資金調達額は減少

46%ダウン： 2012年第2四半期と比較して2012年第3四半期の資金調達額は減少

2012年初頭から9ヵ月間における新規株式公開は615件、857億米ドルであり、2011年初頭から9ヵ月間における970件、1407億米ドルと比較して減少している。

36%ダウン： 2011年初頭からの9ヵ月間と比較して2012年同時期の件数は減少

39%ダウン： 2011年初頭からの9ヵ月間と比較して2012年同時期の資金調達額は減少

2012年第3四半期ハイライト

地域別分析

件数

- ▶ アジア・パシフィックが67.9%を占めており、2012年第3四半期において引き続き第1位である。
- ▶ 欧州/中東/アフリカと北米は、それぞれ14.6%、15.2%のシェアとなっている。中南米は、2.4%のシェアとなっている。
- ▶ 上位3カ国は中国圏*、米国、ポーランドであり、それぞれの件数は63件、22件、11件であった。

資金調達額

- ▶ アジア・パシフィックが76.6%を占めており、第1位である。
- ▶ 北米および欧州/中東/アフリカは第2位および第3位であり、それぞれ14.9%、5.0%のシェアとなっている。中南米は3.6%のシェアとなっている。
- ▶ 2012年第3四半期における上位3カ国は、日本、中国圏*、米国であり、それぞれ36.2% (87億米ドル)、24.4% (59億米ドル)、13.6% (33億米ドル)であった。

業種別分析

件数

- ▶ 件数で上位3業種は、工業(29件)、素材(27件)、テクノロジー(18件)であった。上位3業種で全体の45%を占めている。

資金調達額

- ▶ 資金調達額で上位3業種は、工業(106億米ドル)、ヘルスケア(27億米ドル)、素材(23億米ドル)であり、全体の65%を占めている。

取引所別分析

件数

- ▶ 深セン証券取引所 (SMEおよび ChiNext) が最も件数が多く、35件 (全体の21.2%)であった。
- ▶ 香港証券取引所は12件 (全体の7.3%)、NASDAQは12件 (全体の7.3%)であった。

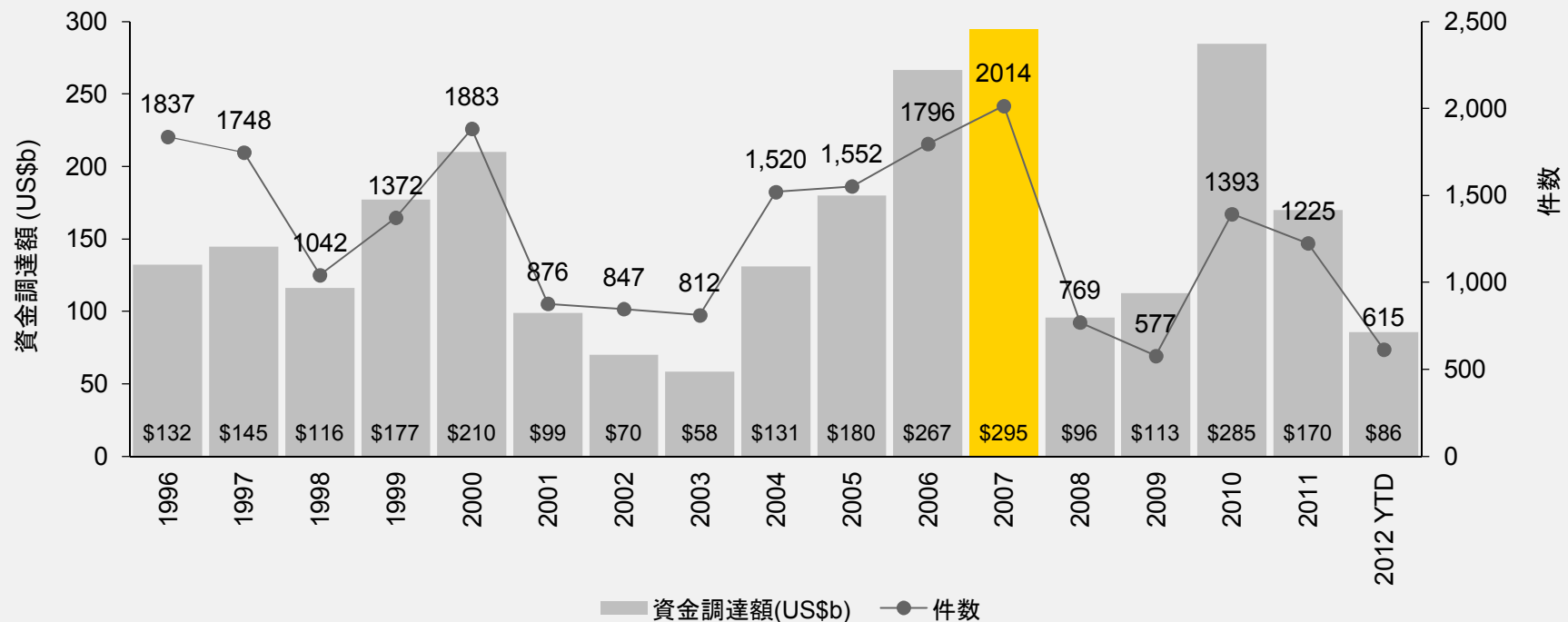
資金調達額

- ▶ 東京証券取引所では、この四半期で最大規模である、総額85億米ドルの日本航空の新規株式公開があった (全世界の資金調達額の35.2%)。
- ▶ 深セン証券取引所は、35件、29億米ドルの新規株式公開があった (全世界の資金調達額の11.9%)。
- ▶ マレーシア証券取引所が第3位であり、4件、24億米ドルの新規株式公開があった (全世界の資金調達額の10.1%)。

**中国圏には、中国(59件、US\$5.9b)、香港(4件、US\$19m)が含まれている。

全世界の新規株式公開状況 年度別件数及び資金調達額

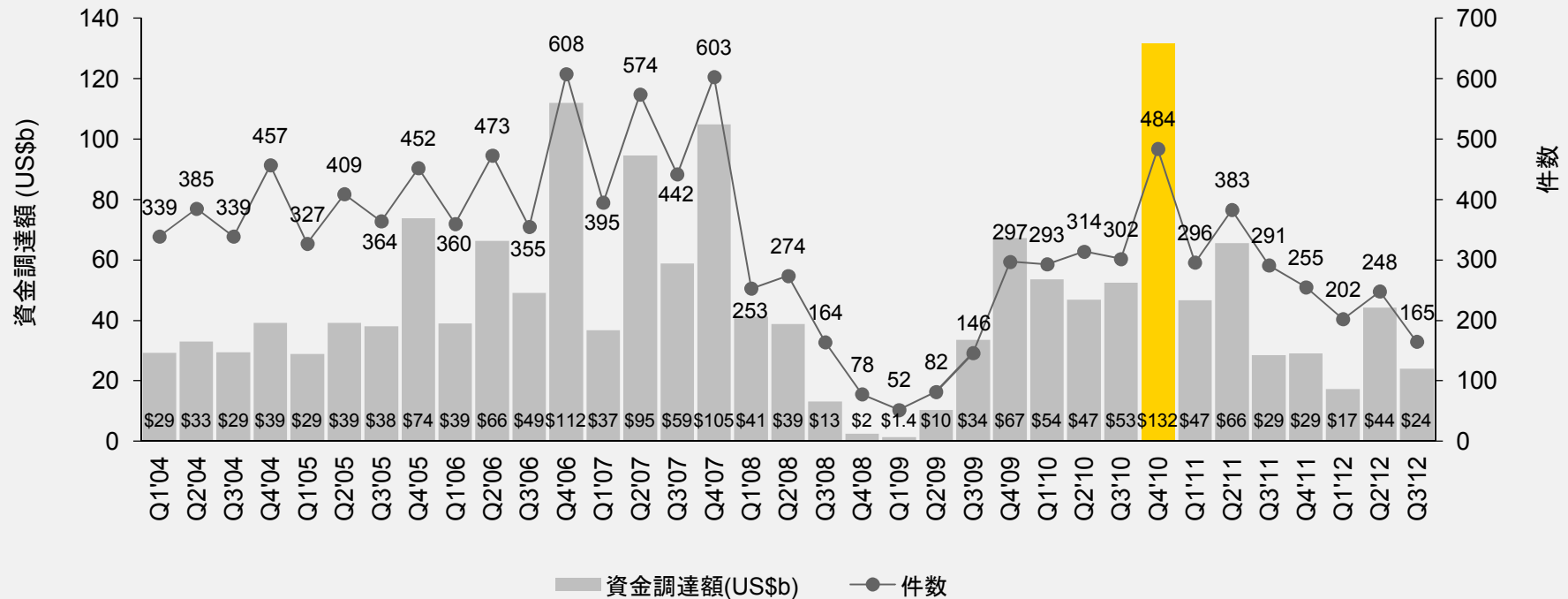
未解決となっている欧州の債務危機、世界の経済成長に対する懸念、株式市場の下落が、2012年初頭から9カ月間における全世界の新規株式公開活動に大きな影響を与えた。



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 四半期別件数及び資金調達額

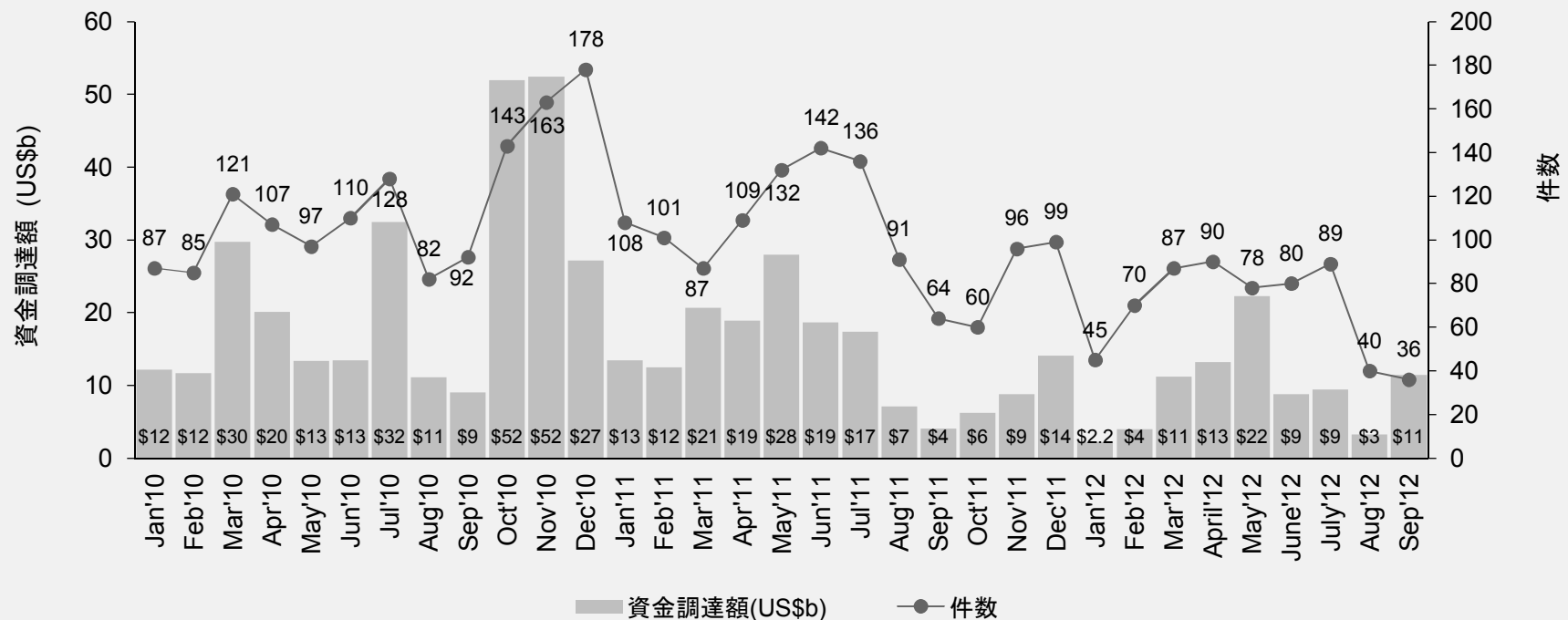
2012年第3四半期において、10億米ドルを超える資金調達は2件であった。資金調達額で上位10件の新規株式公開のうち7件、上位20件のうち12件は、新興市場におけるものであった。



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 月別件数及び資金調達額

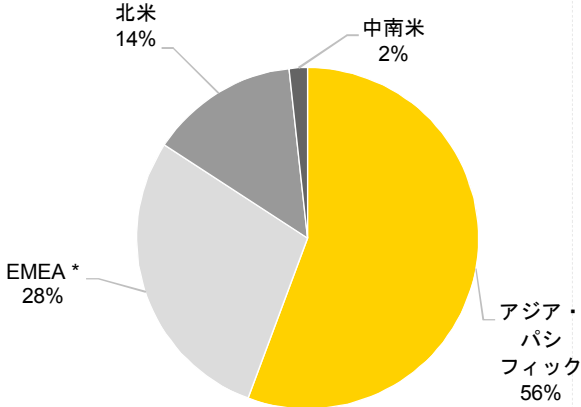
2012年9月における新規株式公開は、36件、資金調達額115億米ドルであったが、これは2009年5月の新規株式公開(27件、24米ドル)以降、最低の月間新規株式公開件数であった。2012年8月は40件、資金調達額32億米ドルであったが、これは2012年1月以降、最低の月間資金調達額であった。



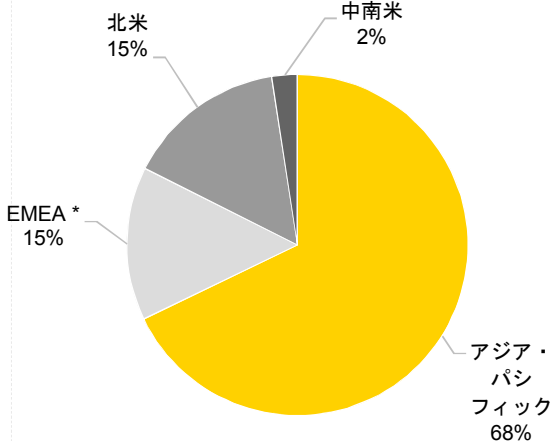
* 9月20日現在
出典 Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 地域別分布 件数

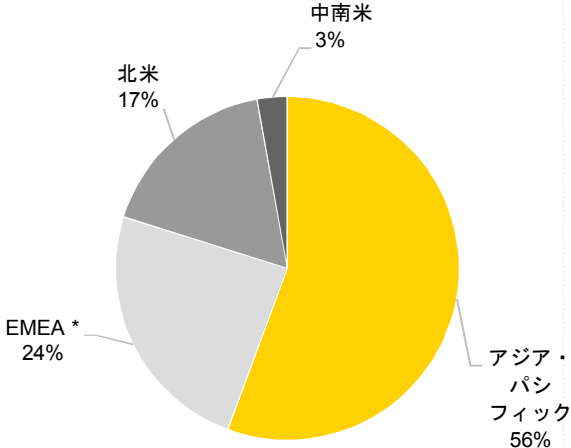
2011年第3四半期



2012年第3四半期



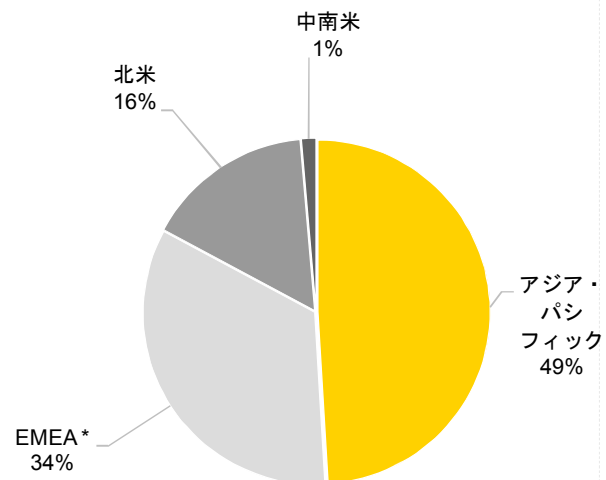
2012年第2四半期



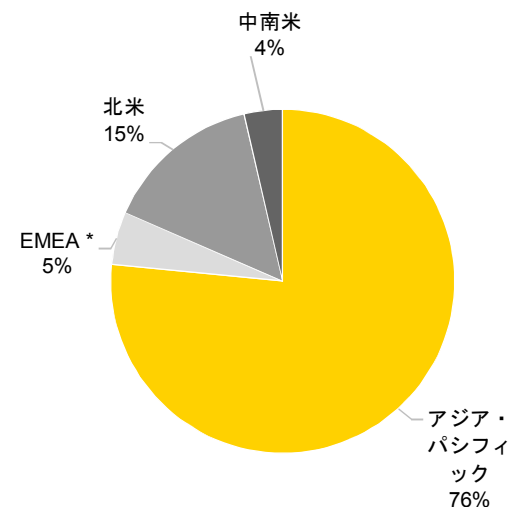
* EMEAには、欧州、中東、アフリカが含まれている。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 地域別分布 資金調達額

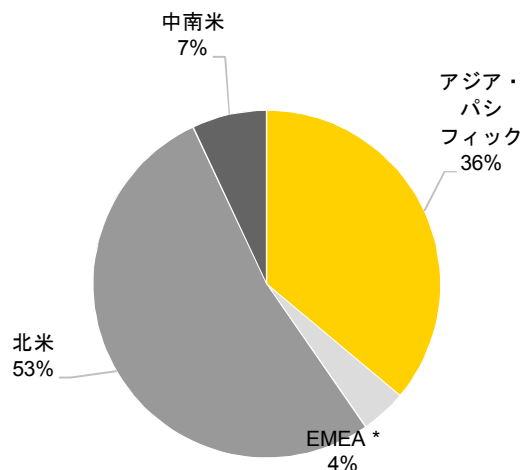
2011年第3四半期



2012年第3四半期

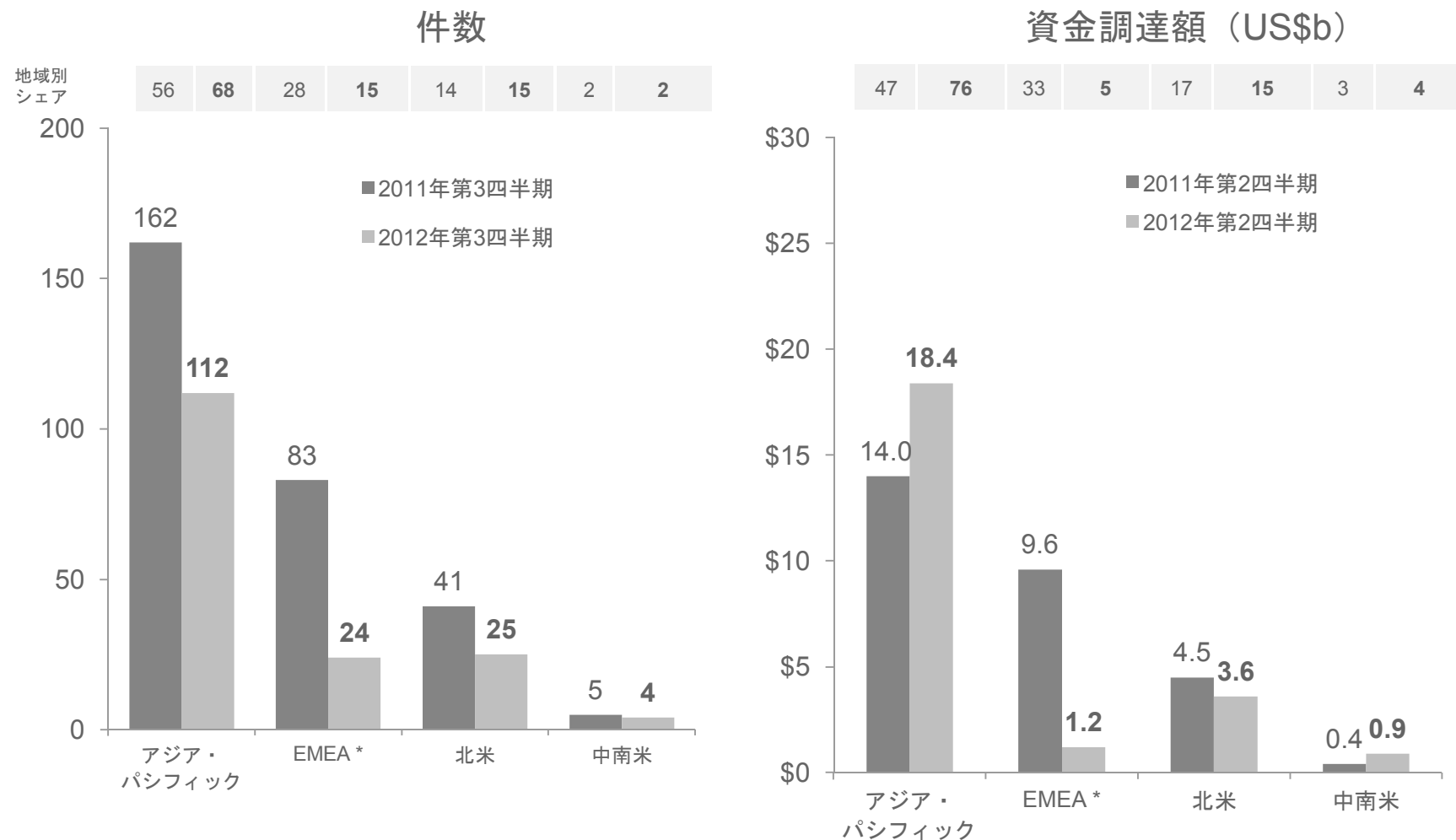


2012年第2四半期



* EMEAには、欧州、中東、アフリカが含まれている。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

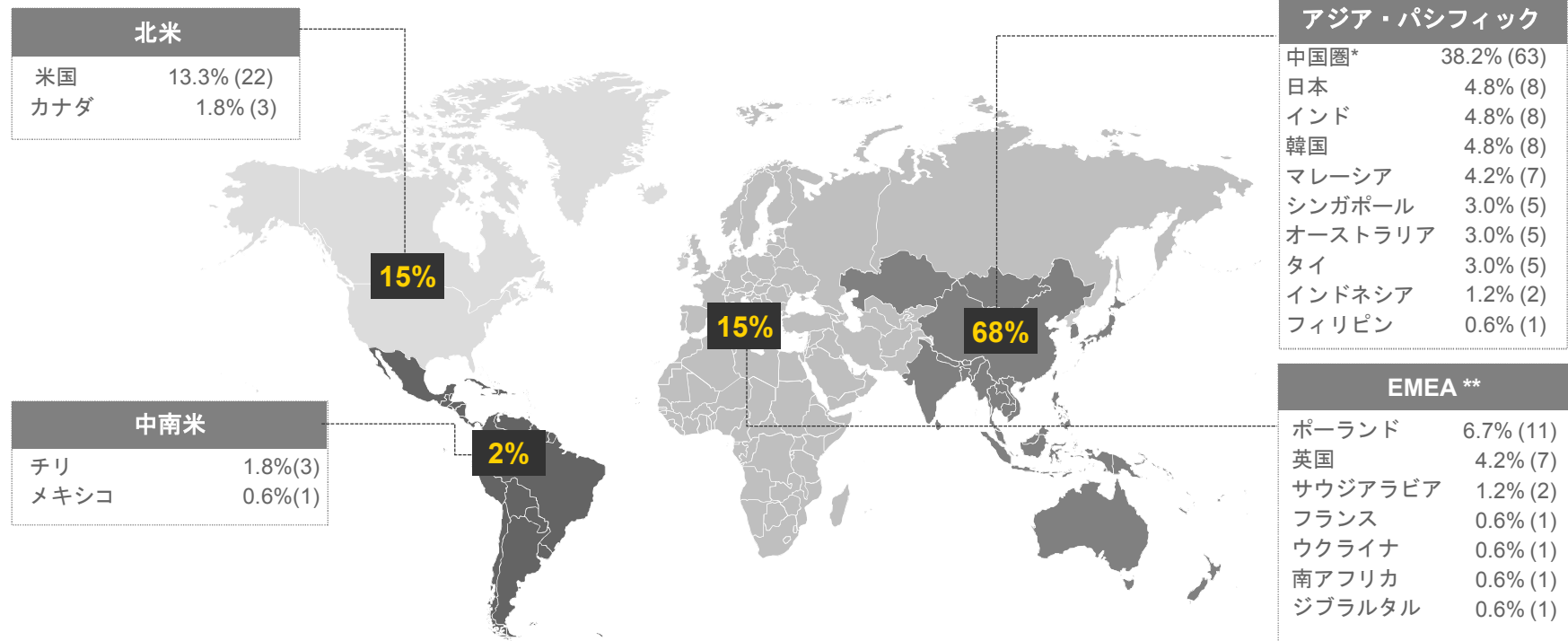
2011年第3四半期と2012年第3四半期の比較 地域別分析



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young * EMEAには、欧州、中東、アフリカが含まれている。

2012年第3四半期全世界の新規株式公開状況 地域別件数

件数では中華圏*が第1位であり、米国、ポーランドがそれに続く

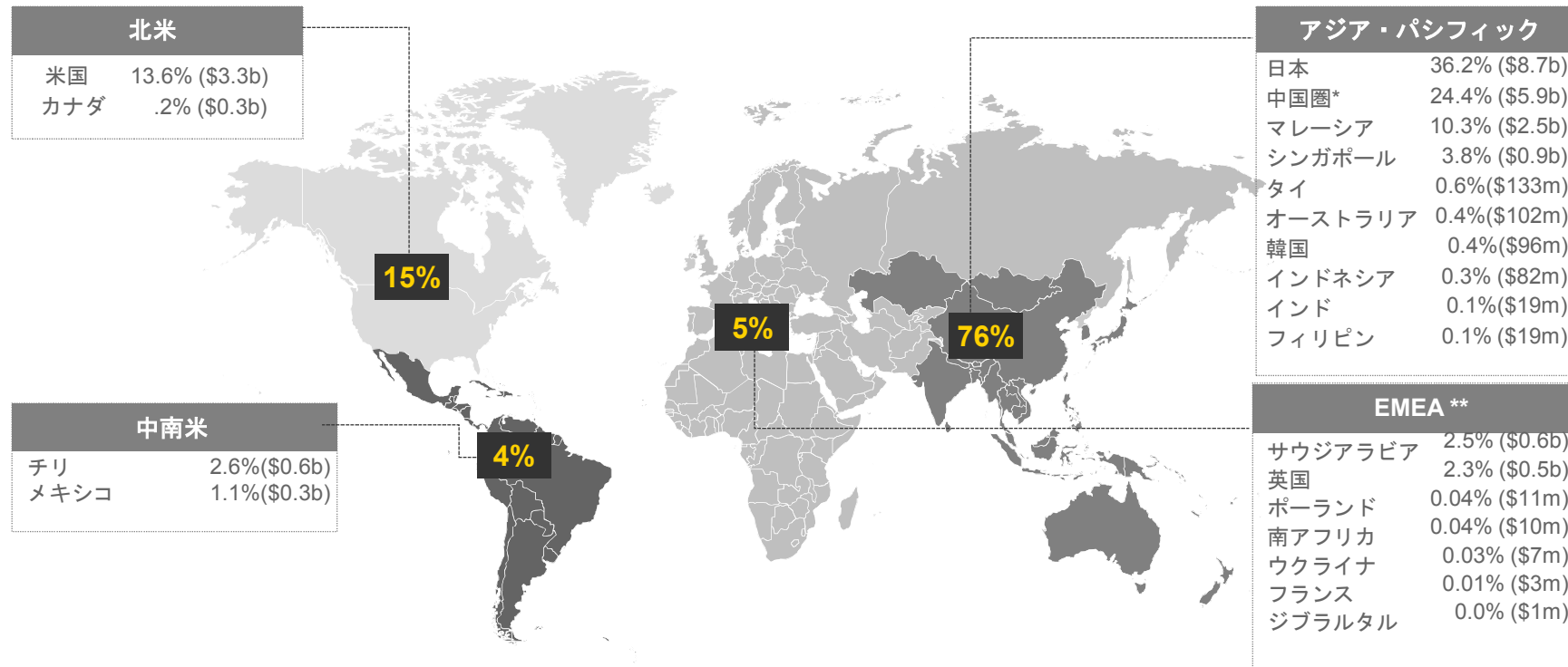


新興国が件数では72%、資金調達額では46%を占めている。BRICs諸国合計で、67件(総件数の41%)、資金調達額59億米ドル(総資金調達額の24%)であった。

*中国圏には、中国(59件)、香港(4件)が含まれている。上場企業の本社所在地ベース。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

2012年第3四半期全世界の新規株式公開状況 地域別資金調達額

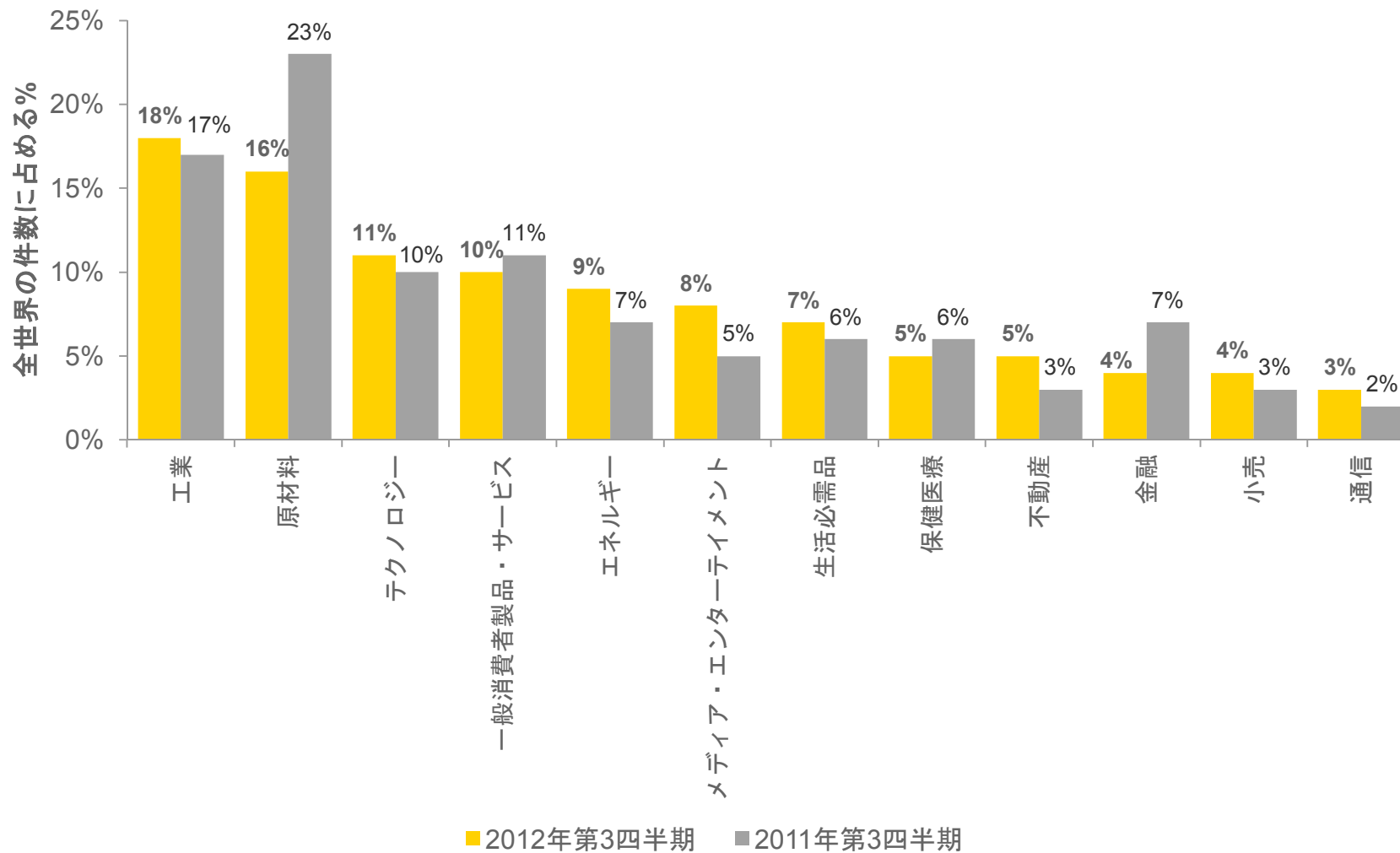
資金調達額では日本が第1位(87億米ドル)であり、中華圏*、米国がそれに続く



資金調達額10億米ドルを超える案件は2件あり、そのうち1件は新興市場におけるものであった。資金調達額で上位10件のうち7件、上位20件のうち12件が新興市場におけるものであった。

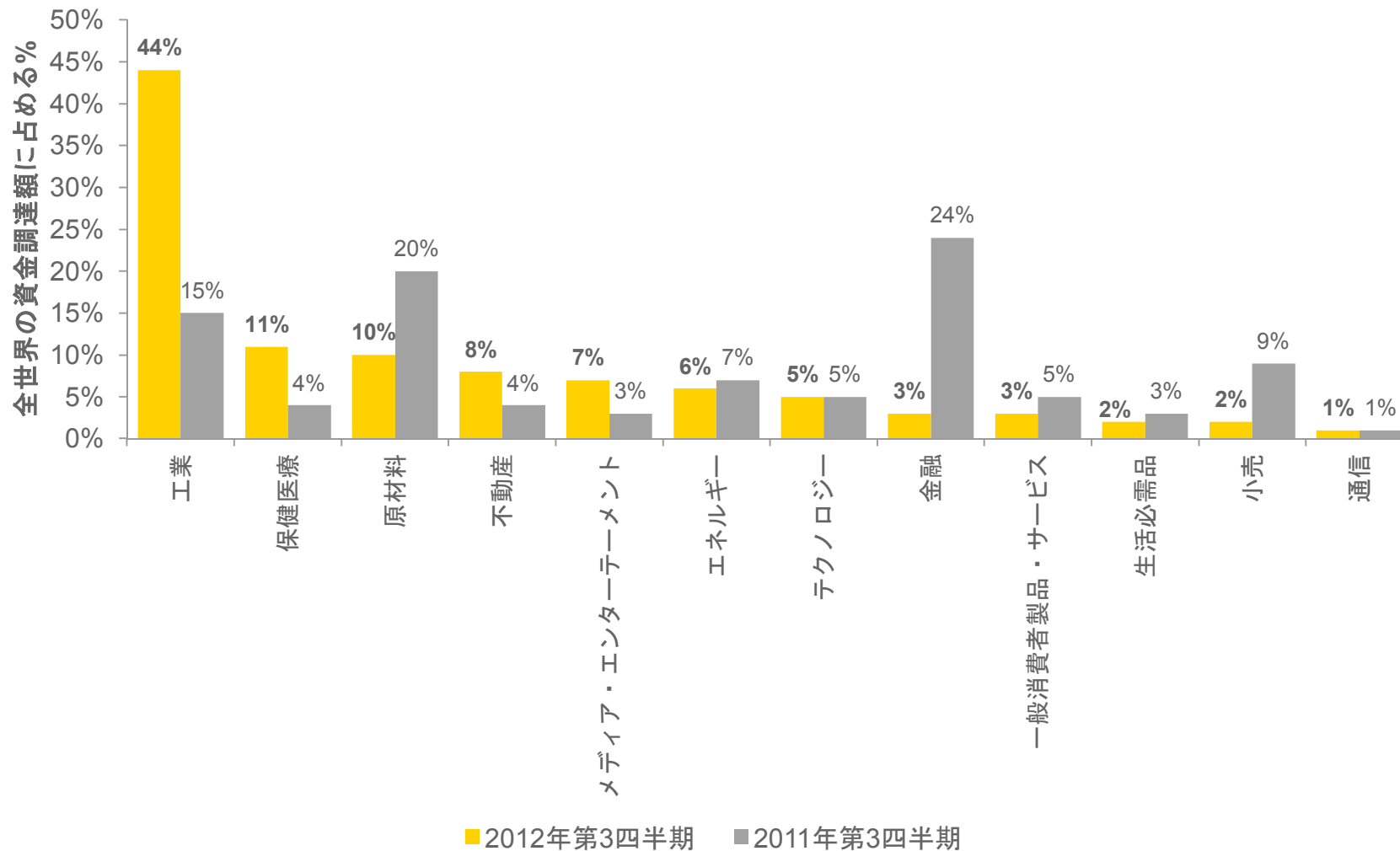
*中国圏には、中国 (US\$5.9b)、香港 (US\$19m)が含まれている。上場企業の本社所在地ベース。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 業種別件数



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 業種別資金調達額



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

2012年第3四半期全世界の新規株式公開状況 取引所別分析*

件数 上位12件

取引所名	件数	パーセント
深セン証券取引所 (SZE)**	35	21.2%
香港証券取引所 (HKEx)	12	7.3%
NASDAQ	12	7.3%
ニューヨーク証券取引所(NYSE)	11	6.7%
NewConnect ワルシャワ証券取引所	10	6.1%
ロンドンAIM (AIM)	8	4.8%
上海証券取引所 (SSE)	8	4.8%
オーストラリア証券取引所 (ASX)	7	4.2%
ボンベイ証券取引所	7	4.2%
KOSDAQ	7	4.2%
東京証券取引所マザーズ	5	3.0%
シンガポール証券取引所(Catalist)	4	2.4%
その他	39	23.6%
全世界合計	165	100%

資金調達額 上位12件

取引所名	資金調達額 (US\$m)	パーセント
東京証券取引所(TSE)	\$8,477	35.2%
深セン証券取引所 (SZE)**	\$2,860	11.9%
マレーシア証券取引所	\$2,436	10.1%
ニューヨーク証券取引所(NYSE)	\$2,180	9.1%
香港証券取引所 (HKEx)	\$1,757	7.3%
上海証券取引所 (SSE)	\$1,405	5.8%
NASDAQ	\$1,331	5.5%
シンガポール証券取引所(SGX)	\$913	3.8%
サンティアゴ証券取引所(SSE)	\$619	2.6%
サウジアラビア証券取引所(TADAWUL)	\$606	2.5%
ロンドンAIM (AIM)	\$335	1.4%
メキシコ証券取引所(BMV)	\$256	1.1%
その他	\$906	3.8%
全世界合計	\$24,803	100%

1* 上場企業の所在地でなく、取引所所在地に基づいている。
2** 深セン証券取引所には、SMEとChiNextの両方が含まれている。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

2011年第3四半期全世界の新規株式公開状況 取引所別分析*

件数 上位12件

取引所名	件数	パーセント
深セン証券取引所(SZE)**	57	19.6%
NewConnect ワルシャワ証券取引所	38	13.1%
オーストラリア証券取引所(ASX)	24	8.2%
香港証券取引所(HKEx)	17	5.8%
トロントベンチャー証券取引所(TSX-V)	16	5.5%
ロンドンAIM(AIM)	14	4.8%
ボンベイ証券取引所(BSE)	12	4.1%
KOSDAQ	11	3.8%
NASDAQ	11	3.8%
上海証券取引所(SSE)	9	3.1%
ニューヨーク証券取引所(NYSE)	8	2.7%
マドリード証券取引所	5	1.7%
その他	69	23.7%
全世界合計	291	100%

資金調達額 上位12件

取引所名	資金調達額 (US\$m)	パーセント
深セン証券取引所(SZE)**	\$5,525	19.4%
マドリード証券取引所(IBEX)	\$5,293	18.5%
上海証券取引所(SSE)	\$3,119	10.9%
香港証券取引所(HKEx)	\$2,503	8.8%
ニューヨーク証券取引所(NYSE)	\$2,199	7.7%
NewConnect ワルシャワ証券取引所	\$2,029	7.1%
NASDAQ	\$1,731	6.1%
ロンドン証券取引所(LSE)	\$950	3.3%
マレーシア証券取引所	\$888	3.1%
トロント証券取引所(TSX)	\$549	1.9%
オーストラリア証券取引所(ASX)	\$548	1.9%
ボンベイ証券取引所(BSE)	\$506	1.8%
その他	\$2,728	9.6%
全世界合計	\$28,569	100%

* 上場企業の所在地でなく、取引所所在地に基づいている。
** 深セン証券取引所には、SMEとChiNextの両方が含まれている。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

新興市場 BRICs諸国における年度別新規株式公開

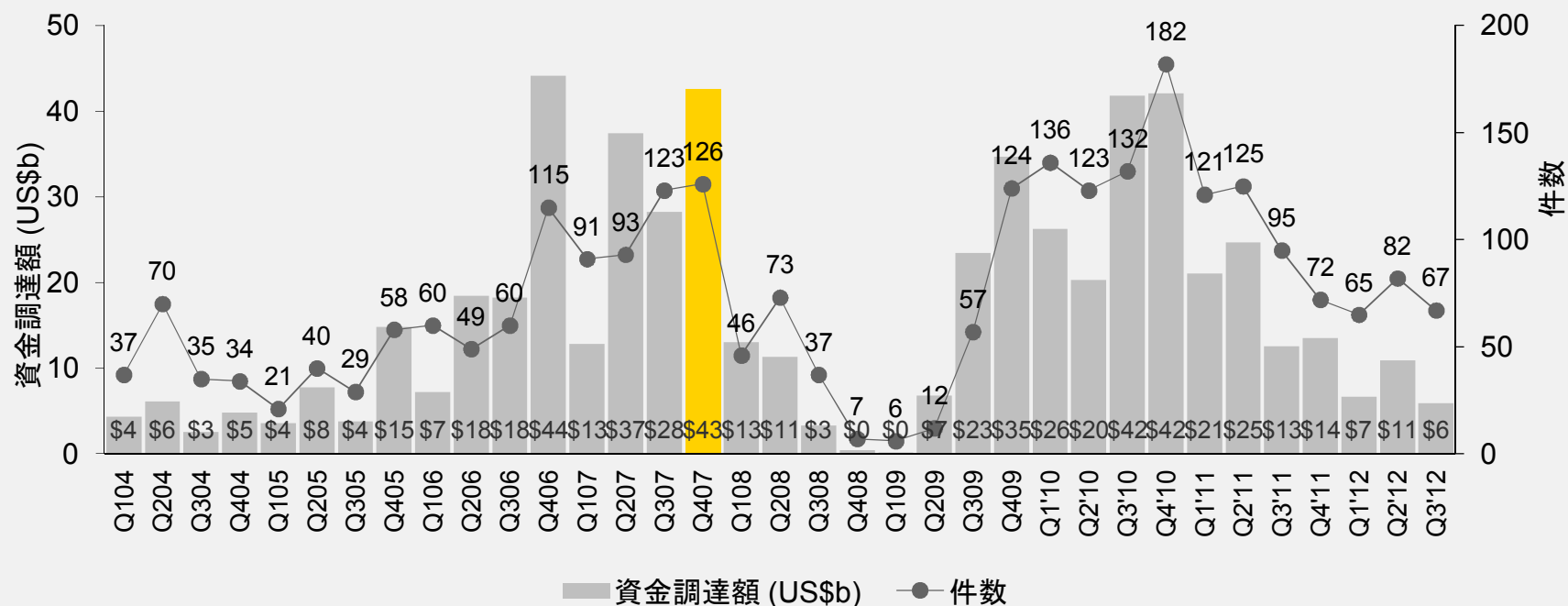
新興市場は、2012年第3四半期においても世界の新規株式公開を牽引している(全世界の件数の72%、資金調達額の46%)。新興市場における新規株式公開は118件、資金調達額111億米ドルであり、そのうちBRICs諸国は67件、資金調達額59億米ドルであった。



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

新興市場 BRICs諸国における四半期別新規株式公開

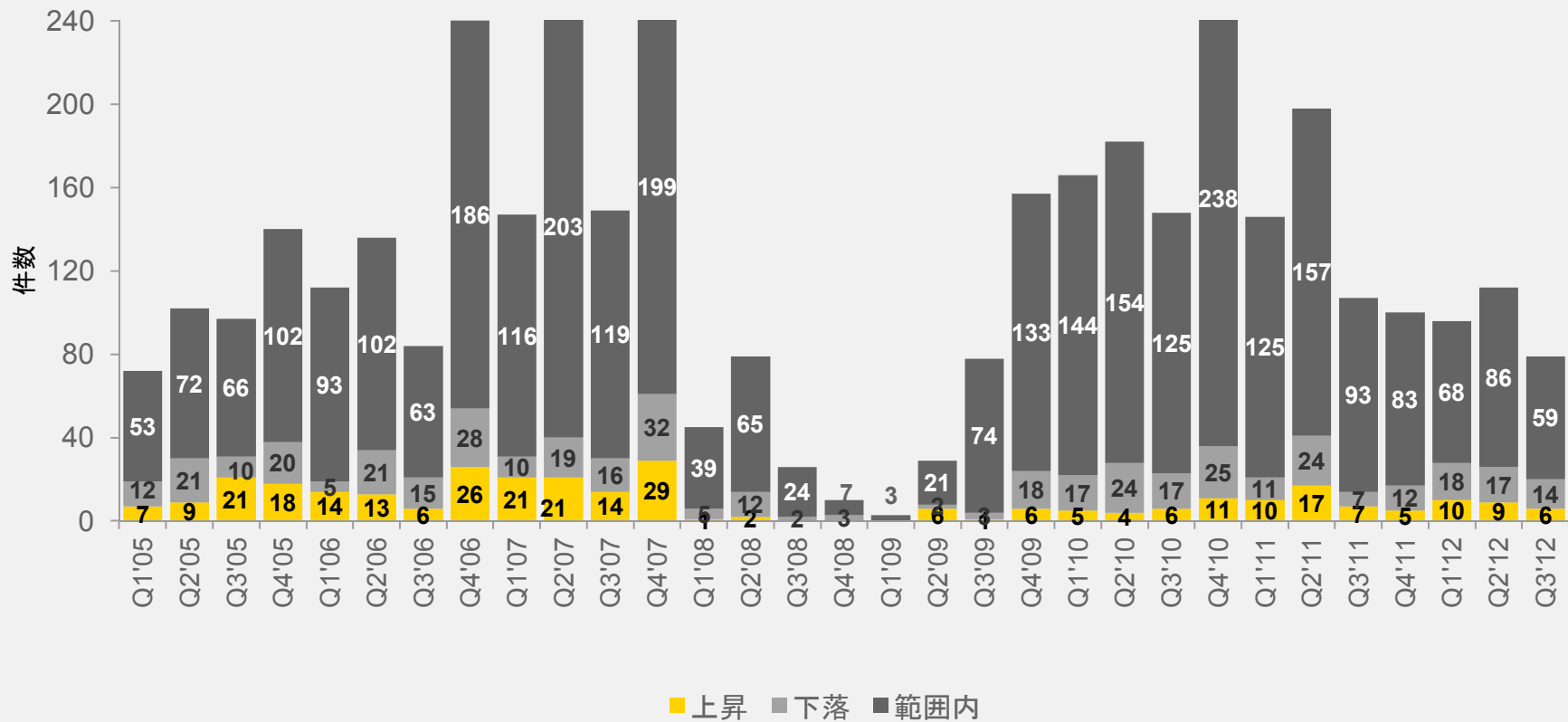
2012年第3四半期において資金調達額が10億米ドルを超える案件は2件のみであり、そのうち1件は新興市場におけるものであった。資金調達額で上位10件のうち7件、上位20件のうち12件が新興市場におけるものであった。



出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の新規株式公開状況 公開価格別件数

いくつかの注目を浴びた新規株式公開銘柄に出来不出来があったため、株価に敏感な投資家が用心深くなり、2012年第3四半期における全世界の新規株式公開*の75%は当初公開価格の範囲に収まっており、上昇したのは7%であった。当初公開価格の範囲から下落したのは、18%だけであった。



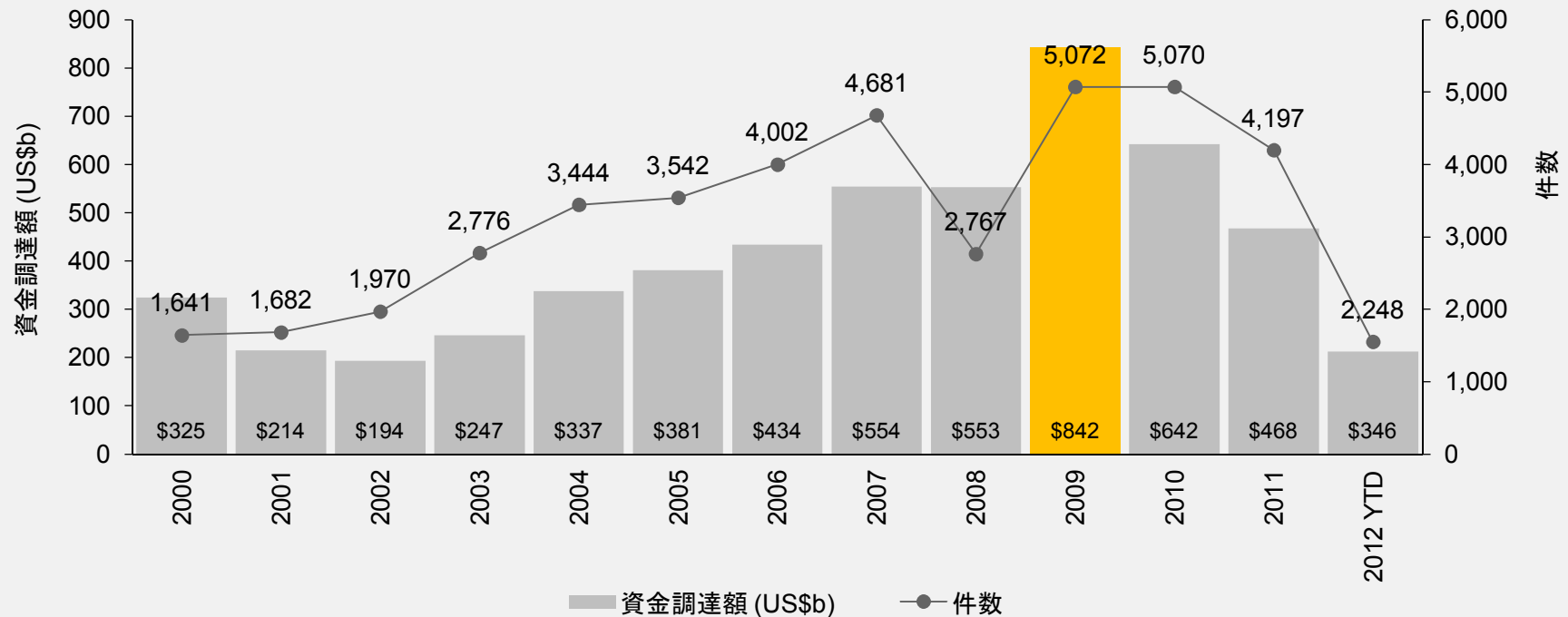
*出典: Dealogic

*上記のグラフは、50百万米ドルを超える新規株式公開で、株価が上昇、下落又は当初公開価格の範囲内となった件数を示している。

全世界の追加株式売出の状況 年度別件数及び資金調達額

全世界の追加株式売出は2009年が最も多かった。2011年において10億米ドルを超える案件は75件あったが、2012年初頭から9カ月間においては、64件だった。そのうち41件は先進国市場、23件は新興市場におけるものであった。

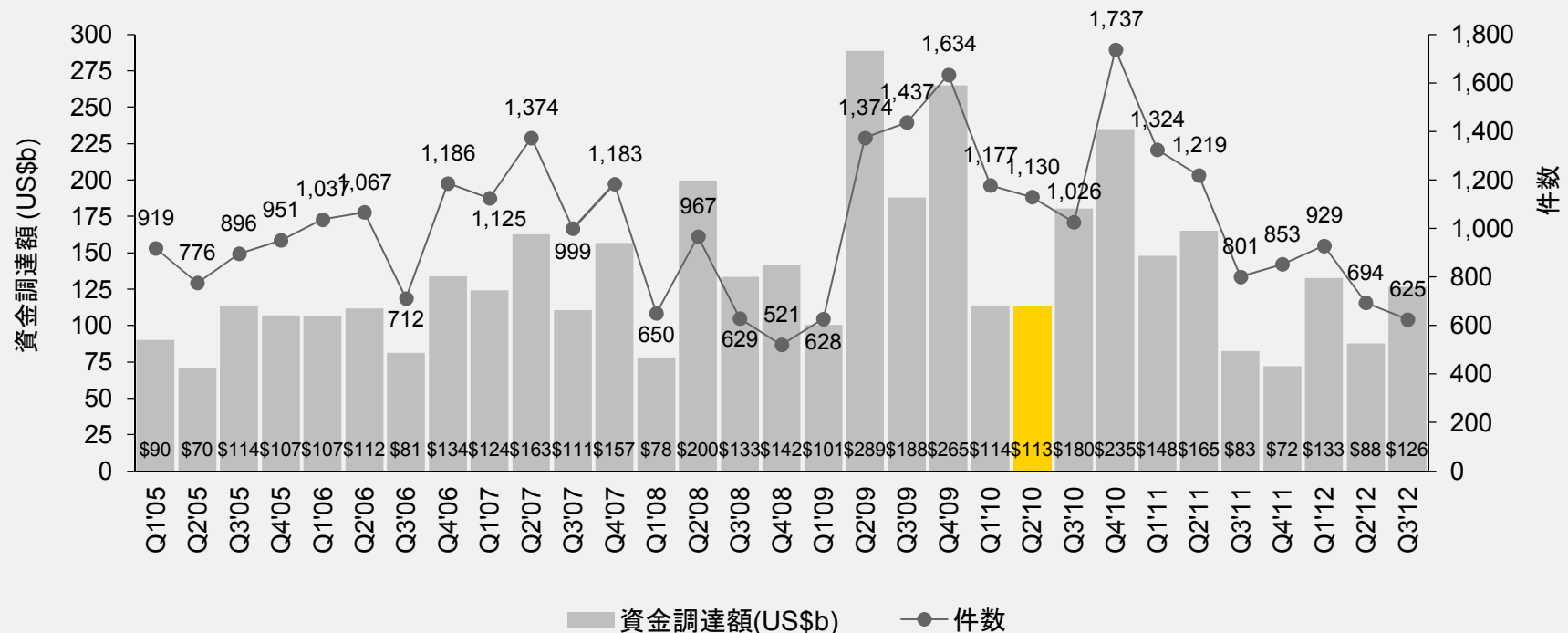
ECMIに占める追加株式売出の%	50	45	51	50	57	59	52	53	69	78	62	67	74
------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



ECMIはEquity Capital Marketsの略語であり、新規株式公開、追加株式売出、転換取引を含む。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

全世界の追加株式売出の状況 四半期別件数及び資金調達額

2012年第3四半期で追加株式売出による資金調達額が多かった上位3取引所は、ニューヨーク証券取引所（69件、504億米ドル）、ロンドン証券取引所（13件、90億米ドル）、香港証券取引所（42件、87億米ドル）であった。10億米ドルを超える案件は21件あり、そのうち15件は先進国市場におけるものであった。



出典: Dealogic, Ernst & Young

全世界の新規株式公開 完了件数と中止及び延期件数の比較

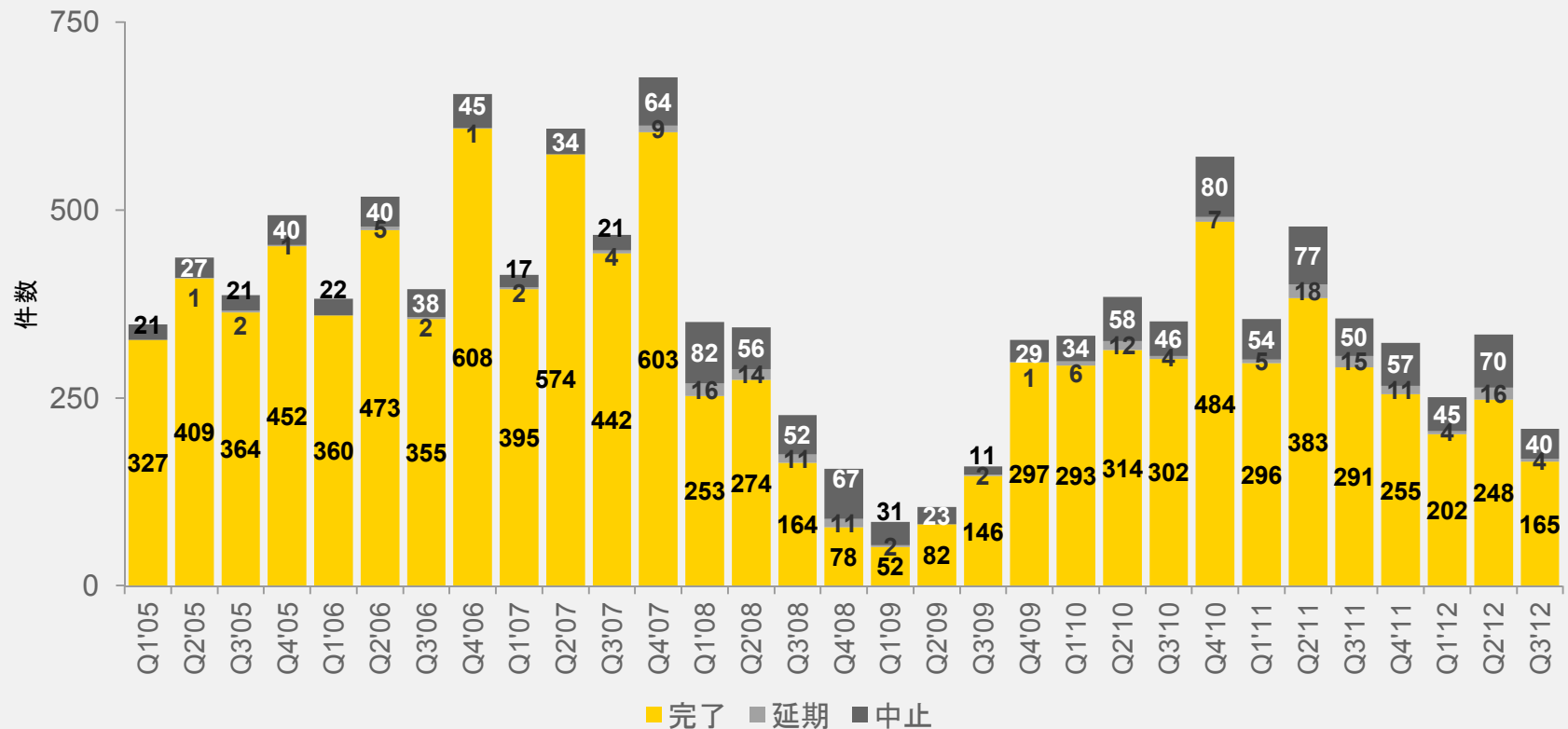
完了したIPO に対する中 止・延期され たIPOの%	9	9	6	7	9	8	40	17	18	23	29
--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----



*2012年度は9月20日までのデータで、事業会社のみを含む。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

四半期別 全世界の新規株式公開 完了件数と中止及び延期件数の比較

完了した新規株式公開と比較して、中止及び延期された新規株式公開の件数が高かったのは、2008年の40%であったのに対し、2011年は23%であった。四半期別では、2008年第4四半期が100%と最も高かった。2012年第2四半期と2012年第3四半期は、それぞれ35%と27%だった。



* 2012年度は9月20日までのデータで、事業会社のみを含む。
出典: Dealogic, Thomson Financial, Ernst & Young

付録：定義

- ▶ 本資料およびプレスリリースにおけるデータの出典は、Dealogic、Thomson Financial及びErnst & Youngである。本Global IPO Updateは、2012年1月1日から9月20日の間における全世界の新規株式公開を対象としている。
- ▶ 本資料及びプレスリリースの作成の目的上、新規株式公開とは、ある会社が初めて一般に向けて株式の売出を行うものとして捉えており、かつ事業会社の新規株式公開のみを扱っている。
- ▶ 本報告書では、発行日（売出価格が設定され、その後、割当が行われた日）、取引日（当該証券が初めて取引された日）、払込金（当初予定より多く割当が行われた場合を含む資金調達額総額）に関してDealogic、Thomson FinancialおよびErnst & Youngがデータを提供する新規株式公開案件のみを取り扱っている。延期された案件や価格が付いていない案件は、除外している。また、相対取引についても除外している。
- ▶ 信託、ファンド、特別買収目的会社などの非事業会社を除くために、下記のSIC業種コードに該当する会社は除外している。
 - ▶ 6091: Financial companies that conduct trust, fiduciary and custody activities
 - ▶ 6371: Asset management companies such as health and welfare funds, pension funds and their third-party administration as well as other financial vehicles
 - ▶ 6722: Companies that are open-end investment funds
 - ▶ 6726: Companies that are other financial vehicles
 - ▶ 6732: Companies that are grant-making foundations
 - ▶ 6733: Asset management companies that deal with trusts, estates and agency accounts
 - ▶ 6799: Special Purpose Acquisition Companies (SPACs)
- ▶ 追加株式売出の分析においても、上記のSIC業種コードに該当する会社は除外している。
- ▶ 記載されている場合を除き、新規株式公開は、公開を行った会社の本社所在国に属するものとして取り扱っている。上場している主要な取引所は、Dealogic、Thomson FinancialおよびErnst & Youngによる定義に基づいている。外国市場への上場は、取引所の所在国と会社の本社所在国（すなわち、株式発行会社の国）とが異なる場合をいう。HKEx、SSE、SZE、WSE、NewConnect、TSXおよびTSX-Vにおける新規株式公開については、発行日ではなく、最初の取引日を使用している。

付録：定義

▶ 地域に関する定義

- ▶ アジアには、バングラディシュ、中国圏、インド、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、韓国、スリランカ、タイ、ベトナムが含まれる。
- ▶ 中華圏には、中国、香港、マカオ、台湾のみが含まれる。
- ▶ アジア・パシフィックには、上記のアジアに加えて、オーストラリア、ニュージーランド、フィジー、パプアニューギニアが含まれる。
- ▶ 中南米には、アルゼンチン、バミューダ、ブラジル、チリ、コロンビア、エクアドル、ジャマイカ、メキシコ、ペルー、プエルトリコが含まれる。
- ▶ 欧州には、アルメニア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、マン島、イタリア、カザフスタン、ルクセンブルグ、リトアニア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ロシア連邦、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、ウクライナ、英国が含まれる。
- ▶ 中東には、バーレーン、イラン、イスラエル、ヨルダン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、シリア、UAE、イエメンが含まれる。
- ▶ アフリカには、アルジェリア、ボツワナ、エジプト、ガーナ、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モロッコ、ナミビア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、チュニジア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれる。
- ▶ 北米には、米国とカナダが含まれる。
- ▶ **新興市場**には、アルゼンチン、アルメニア、バングラディシュ、ボリビア、ブラジル、ブルガリア、チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、エチオピア、中国圏、ハンガリー、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、ケニア、クウェート、カザフスタン、ラオス、リトアニア、マレーシア、モーリシャス、メキシコ、ナミビア、パキスタン、ペルー、フィリピン、ポーランド、カタール、ロシア連邦、サウジアラビア、シエラレオネ、シンガポール、スロベニア、南アフリカ、韓国、スリランカ、タンザニア、タイ、チュニジア、トルコ、ウクライナ、UAE、ベトナム、ザンビアなどの株式発行会社が含まれる。
- ▶ **先進国市場**には、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、バミューダ、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、グリーンジー島、マン島、イタリア、日本、ジャージー島、ルクセンブルグ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国などの株式発行会社が含まれる。
- ▶ **国営企業の民営化**とは、もともと国営企業であった会社が新規株式公開を行い、上場会社になることをいう。

About Ernst & Young

Ernst & Young is a global leader in assurance, tax, transaction and advisory services. Worldwide, our 152,000 people are united by our shared values and an unwavering commitment to quality. We make a difference by helping our people, our clients and our wider communities achieve their potential.

Ernst & Young refers to the global organization of member firms of Ernst & Young Global Limited, each of which is a separate legal entity. Ernst & Young Global Limited, a UK company limited by guarantee, does not provide services to clients. For more information about our organization, please visit www.ey.com.

About Ernst & Young's IPO Offering

Ernst & Young thrives on helping companies to deliver successful initial public offerings (IPOs). Our strategic growth markets professionals, who are dedicated to serving future market leaders worldwide, help businesses like yours evaluate the pros and cons of an IPO. We demystify the process, examine the alternatives and help prepare you for life in the public spotlight. Our Global IPO Center of Excellence is a virtual hub which provides access to our IPO knowledge, tools, thought leadership and contacts from around the world in one easy-to-use source.

www.ey.com/ipocenter

© 2012 EYGM Limited.
All Rights Reserved.

EYG no. CY0319

This publication contains information in summary form and is therefore intended for general guidance only. It is not intended to be a substitute for detailed research or the exercise of professional judgment. Neither EYGM Limited nor any other member of the global Ernst & Young organization can accept any responsibility for loss occasioned to any person acting or refraining from action as a result of any material in this publication. On any specific matter, reference should be made to the appropriate advisor.

Are you ready?

Why not visit the Ernst & Young Global IPO Center of Excellence?

The new Ernst & Young Global IPO Center of Excellence powerfully showcases the Ernst & Young difference. It is a virtual hub that pools our global IPO knowledge, experience and resources in one place for the first time.

Visit www.ey.com/ipocenter today and make sure you are ready for the IPO journey.